

衆議院東日本大震災復興特別委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月22日（金）、第3回の委員会が開かれました。

1 東日本大震災復興の総合的対策に関する件

・土屋復興大臣、平沼復興大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力ホールディングス株式会社代表執行役副社長 山口裕之君

福島国際研究教育機構理事長 山崎光悦君

（質疑者）西野太亮君（自民）、玄葉光一郎君（立憲）、金子恵美君（立憲）、荒井優君（立憲）、早坂敦君（維教）、高橋千鶴子君（共産）、鈴木義弘君（国民）、福島伸享君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

西野太亮君（自民）

- (1) 住まいの再建の進捗状況
- (2) 防潮堤の整備方針
- (3) 復興まちづくりに向けた対立する意見の集約方法
- (4) 災害公営住宅の整備方針、整備状況及び入居状況
- (5) 能登半島地震からの復旧・復興に向けての東日本大震災の教訓・知見の継承
 - ア 東日本大震災の教訓・知見の継承
 - イ 平沼政務官の意気込み
 - ウ 復興大臣の所見

玄葉光一郎君（立憲）

- (1) 除染による除去土壌
 - ア 再生利用を進めるための方策
 - イ 再生利用に当たってのインセンティブを検討していく必要性
 - ウ 再生利用の進展に向け、総理大臣から知事会に協力を要請していく必要性
- (2) 除染の範囲を柔軟に設定していく必要性

金子恵美君（立憲）

- (1) 震災の記憶と教訓を継承しながら復興を進める重要性に対する復興大臣の見解
- (2) 大熊町が熊町小学校等を震災を伝える場として残そうとしていることへの復興大臣の見解
- (3) 廃炉作業でミスを繰り返す東京電力の再発防止策
- (4) 東京電力福島第一原発の廃炉に向けた中長期ロードマップの実現可能性
- (5) 原賠機構が提示した福島第一原発3号機の燃料デブリ取り出し工法に対する東京電力の見解

荒井優君（立憲）

- (1) 復興大臣の柳美里作の震災を題材にした演劇の鑑賞歴
- (2) 廃炉に携わる東京電力の作業員等のうち双葉郡出身者の人数及び割合
- (3) F-R-E-Iにおける地元の方が親しめるための環境づくり

早坂敦君（維教）

- (1) 初の女性復興大臣としての就任から半年を経ての所感
- (2) 東日本大震災における「教訓」についての復興大臣の認識と能登半島地震への教訓の継承
- (3) 東日本大震災における子どもへの心のケア
- (4) 東日本大震災における遺児及び孤児への取組と今後の対応
- (5) 人口減少時代に合わせた復興まちづくり
- (6) 東日本大震災におけるまちづくりに向けた合意形成プロセスと能登半島地震への継承
- (7) 災害ケースマネジメントの取組及び民間との連携並びに能登半島地震における対処状況
- (8) 福島及び東北の復興に向けての復興大臣の決意

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 東京電力福島第一原発事故における避難の教訓
- (2) 原子力施設等の新規制基準適合性審査の対象に自治体策定の避難計画が含まれていない理由
- (3) 原子力施設周辺の自治体における避難道路の実態及びそれを踏まえた避難計画
- (4) 原発事故含む複合災害が生じた場合に現実的には避難が困難とされる中での原発再稼働への疑念

鈴木義弘君（国民）

- (1) 帰還困難区域すべての避難指示解除の見通し
- (2) 被災地の所有者不明土地問題解決への方策

福島伸享君（有志）

- (1) ALPS処理水の海洋放出に伴う水産業への影響の現状
- (2) 中国等の禁輸措置に対する水産事業者支援のための政府の取組
- (3) 中国の禁輸措置撤廃に向けた外交交渉
- (4) F-R-E-Iの人材確保に向けた取組状況
- (5) F-R-E-Iの成功に向けての復興大臣の決意